

山梨県 桃の会

会報第 88 号

無条件で愛すること

人を無条件で愛するということは
相手がこちらの状況や、制限に応じるのではなく
自分の内面から沸き出る意欲に従って
行動する自由を、相手に与えることです

(S・R・C)

多くのひきこもる人たちや、そうでない人たちにも
全ての人に求められている無条件の愛
心の自由、行動する自由は人が人として生き
自分を生かしながら生きるためのものです



あけまして おめでとうございます
今年もどうぞよろしくお願いいたします

出会う、つながる、わかちあう

K H J 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部

HP <https://momonokai.org> e-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

ピア Voice

“☆ 心に残ることば ☆”

「私の気持ちをようやく分かってくれたね!」



娘が母に言った言葉である。その言葉にたどり着くまで母と娘の葛藤は、はかりしれない。

しかしその言葉は全てが終わったことを表しているのではなく、母と娘の信頼関係を再構築する為の新たなスタートである。本人の試行錯誤と親の忍耐は続く。後退と前進を繰り返しながら少しずつ前へ進んでいくのだから・・・その時、相手を信じて一喜一憂しないことである。

「待たないで待つ」母が苦しみの中で学びたどり着いた言葉、その言葉には母の強い覚悟が込められている。「理解された」という感覚、それは親子関係のみならずあらゆる人間関係において「信じる」ことの始まりだろう。

▶ ミニグループトークからの報告

*兄弟姉妹グループの報告・・・様々な想いを話そう・・・

今回、参加者は4名です。ひきこもっている息子さんのいらっしゃるお母様がグループに初めて参加されました。前回参加した後、「家族に妹のことについてメールをしたこと」「保健師と母が話す機会を持てたこと」「家の周りの木を切る業者や包括の精神保健福祉士と弟が家の外で話すことができたこと」といった変化がありました。話題に出たのが、家族内で本人についての話し合いがされていないこと、両親の兄弟姉妹間の対応の不公平感、本人の将来についての不安等が出ました。

感想は「家族で話せる時に本人のことを話したい」「自分一人だと同じ考えになりやすいので他人の意見を聴けるのが良い」「前回と同じ内容でも間隔が空くとその間に思い出したことを話せる」「兄弟姉妹間の話し合いは事務的にやっているつもりでもお互いの感情をぶつけ合っていた」といった振り返りもありました。

まとめとして、今、できることからやってみる。無理に自分一人や家族で困り事や悩みを抱え込まず、第三者に助けを求めることではないかと思いました。

大林

*親グループの報告・・・一年を振り返って・・・

私たちはこの一年も様々な悩み、苦しみ、考えを巡らせた一年であったことでしょうか。その中で少しずつ日常に変化が表れている方が何人かいらっしゃいました。その方たちに共通していることは「子供へ過剰な期待をしなくなった」ことです。今まで自分の想いと向き合い葛藤しながら乗り越えてこられたのだらうと思います。「本当に良かった」という思いで一杯になります。また、久しぶりに家族でこたつを囲んでTVを見たという方・・・本当に当たり前のような些細なことが喜びに感じられることは、当たり前のことが当たり前でなくなっていたということでしょうか。何も言葉を交わさなくても共有した温かさが家族の繋がりを新たに育んでいく小さなきっかけにならないだらうかと考えます。今年最後のミニグループトーク、年末の忙しく、とても寒い中お集まり頂き本当に有難うございました。今後も皆さんが安心して集える居場所となることを願っております。

Shinohara



当事者 Voice

 **当事者スペースの報告** 12月19日(日) 13時—16時 ぴゅあ総合2F 工芸美術室にて

・参加者 当事者、経験者 6名 参加関係者 1名

・スペースにおける内容

チェックイン・・・最近、良かったこと

グループトーク・・・今年1年を振り返って、防災意識、趣味、やっていること、
食事について幅広く、ハローワークで嫌な思いをした体験

・世話人の3名による今回の感想です！・・・

*それぞれがリラックスして自分を出して話している様でした。

tanaka



*年度末ということもあってか、参加人数こそおおくはありませんでしたがその分、一人ひとりの話がしっかりと聞けた集まりになりました。ある者は苦しみを、またある者は以外な才能を・・・それぞれ口々に語り、その中で新たな気づきと学びをその場に居た全員が得られたと思います。こうした集まりは単なる“場所”ではなく、そこに居る人たちの気持ちを尊重し、少しずつ理解しあうことで『当事者スペース』という“居場所”が本当の意味で形作られていくのです。2021年、本当にありがとうございました。皆様のおかげで多くの思いを聞くことが出来ました。

今年も桃の会当事者スペースをよろしくお祈いします！



takizawa

*今年も様々な話が出来ました。穏やかな雰囲気の中、みなさんとの交流ができて良かったです



yonenaga

 **テーマトークの報告** 12月12日(日) 13時～ 福祉プラザロビーにて

・テーマ 『フリーテーマ』 参加者 当事者6名 親1名

12月のテーマトークは自由な話題で語り合う『フリーテーマ』として開催しました。年末ということもあり2021年は皆にとってどういった1年だったのかという振り返りの話題から始まりそこから沢山のお話が聞けました「今年は色々なことができてよかった」という声もありましたが「仕事が辛かった・・・」「家族内での問題が・・・」など多くの参加者にとってはあまり明るい一年ではないのかなと感じました・・・しかし、当事者会は悩みや苦しみを吐き出す場でもあるのです。このテーマトークでこういった気持ちを吐き出し聞けたことはある意味ではプラスなことでもあります。

2021年からスタートしたテーマトーク・・・スタッフ、当事者、そのご家族、皆様のおかげで桃の会は大きな広がりを見せました。“感謝”という言葉だけではとても言い表しきれない嬉しさでいっぱいです！本当にありがとうございます。今年も、山梨県桃の会をよろしくお祈いいたします。(次回のテーマトークは1月29日(土)です！)

ニャー

takizawa



(訳:ありがとう)

■**桃の会・都留からの報告** 12月13日(月) 13時30分～ いきいきプラザ都留にて開催

今回は遠くから篠原代表にもご参加いただきました。当事者の方1名、ご家族の方2名、支援者の方々と都留市健康子育て課の方1名、10名の方々が参加してくださいました。当事者の方も勇気を出して来て下さっているの、丁寧にお話を聞くことが大切だと反省いたしました。

野武



◆1月はミニグループトーク、当事者スペース、テーマトーク を行います

あけましておめでとうございます！

令和4年の新しい年を迎えました。皆さまお元気で正月をお迎えになられたでしょうか。

今年も皆様のご協力、応援を宜しくお願い致します。

今年も新たな出会いと、新たな気付きのチャンスは必ずあると思います。

それらを感じ取り生かしていくのは私たち一人一人です。

さあ！ 新たに気持ちを切り替えて再スタートしましょう。

今月もミニグループトークは、兄弟姉妹グループと親のグループに分かれてトークします。

真冬の寒い時期ですが、ご参加をお待ちしております。

新たな出会いと気付きの機会になりますように。



★ミニグループトーク 1月15日(土) 10時～ ぴゅあ総合 小研修室1 一家族¥500 当事者無料
親のグループ、兄弟姉妹グループに分けてトークします
新年を迎えての新たな想いをお話しましょう。

★当事者スペース 1月15日(土) 13時～ ぴゅあ総合 小研修室1 参加費無料

★テーマトーク 1月29日(土) 13時～16時 福祉プラザロビー 参加費無料 家族付き添いOK
テーマ 『チャレンジしてみたい』

★桃の会・都留 **1月24日の桃の会・都留はコロナの影響でお休みさせていただきます
どうぞよろしくお願いいたします！

コロナ感染防止のためマスクの着用のご協力をお願い致します



<p>農園でギャザリングしよう！</p> <p>画 55㎡ (約 17坪) 1年間 市民農園：1区 6.000円</p> <p>場所：甲州市七沢町 友達家族などと一緒に畑で過ごしませんか</p> <p>お問い合わせ：055-243-0261 (相良農園)</p>	<p>すみれ会</p> <p>1月の集まりはお休みさせていただきます</p> <p>お問い合わせ：090-5416-8748 (清水)</p> <p>*すみれ会は桃の会とは別に地域で活動している家族会です</p>
--	---

2月の予定

ミニグループトーク	2月20日(日)	10時～	ぴゅあ総合
当事者スペース	2月20日(日)	13時～	ぴゅあ総合
テーマトーク	未定		
桃の会・都留	2月14日(月)	13時30分～	いきいきプラザ



募集しています！！ 皆さんの声を募集しております！日々の想いやちょっとした出来事など大歓迎です。
どうぞお気軽に桃の会事務局のメールアドレスまたはFaxでお送りください。お待ちしております。

お問い合わせ 桃の会事務局 e-mail / meri-sannokuni@softbank.ne.jp Fax 0266-78-3742 篠原
Tel 0551- 47- 4040 080-9400-4187 井口
桃の会・都留事務局 e-mail / hiroko.samasara@icloud.com 080-1282-2576 野武